



わかあゆ 2021

～吾こそが知性のペンを磨きゆく～

佐世保市立柚木中学校 学校だより
《令和3年10月6号》
文責：校長 埋ノ江 章
令和3年10月8日(金)
今日は何の日：寒露 木の日(1977)
足袋の日(1988) 骨と関節の日(1994)等

柚木中精神：校門の第一歩は学習の第一歩
学校教育目標：心豊かで自ら学ぶたくましい生徒の育成
めざす生徒像：思いやりのある生徒 意欲的に取り組む生徒 ねばり強くやり抜く生徒
三無一礼：無言清掃 無言配膳 無言整列 校門での一礼
一校一徳運動スローガン：Let's Greet! ～笑顔の花を咲かせよう～

生徒会スローガン：Draw tomorrow! ～明日を描こう!～

～ 学校・家庭・地域共通の子育て目標 ～
いつでも・どこでも・誰にでも、あいさつができる柚木っ子の育成

今日で「前期」の学校生活が終わります!! ～「後期」をどう過ごす!?!～

2学期制における最後の「前期終業式」を迎えました。3年生のみなさんは小学校に入学して以来、中学校を卒業するまで「2学期制」という学期制度のもとに学校生活9年間を過ごしてきましたが、いよいよそれも最後の年となります。区切りの年を迎えましたが、全ての生徒のみなさんにもひとつの区切りをしっかりとつけて欲しいと願っています。これまで機会あるごとに伝えてきましたが、今年度より中学校において新学習指導要領が完全実施となり、「令和の日本型学校教育」を自分事として理解を深め、これからの時代に必要とされる「学び方」を確かなものとして習得し、急激に変化する時代を「生き抜くための力」を身に付けるためにも、目的意識をしっかりと持って「学びに向き合う」姿勢を養って欲しいと願うばかりです。

しかしながら、実際に授業を通して感じたことは基本となる「自学自習」の態度や姿勢が育っているとは自信を持って言える状況にはありません。

誰のために、何のために主体的に「学び」を深めるのかを十分に理解できているとは言い難い状況です。

自分の可能性に気づき、自分の夢や希望、こころざしを実現させるために、人は「学び」続けるのではないかなと思うのですが…

手元にある冊子に次のようなことばが書いてあります。そのことばについてのエピソードが添えてあるので、紹介しておきます。自分なりに「学ぶ」ことについて考え深めることをおすすめします。

- * 知識が血となり肉となる。勉強は決して裏切らない。
大学へ進学するかどうか迷っていた時、恩師に言われました。この言葉の通り、大学に行ってよかったです。
- * 勉強ができなくても大人になれる。でも勉強すれば選択肢が増える!
中学生の頃、将来の夢もなく勉強も大嫌いだった私が、このことばのおかげで大学に進学。いまま夢に向かって楽しく頑張っています。
- * 勉強するのは、自由を得るため
なぜ勉強するのか、と授業中に質問したときの言葉です。お金がなければ、したいことをするのが難しくなる。お金を稼ぐためには仕事に就かなくてはならない。そのために勉強するのです。納得でした。私も子どもにそう教えたいです。

今ある学びの環境を最大限に活かして、自らの学びをより確かに、さらに深めていって欲しいと願っています。

自分の心が次第で「学び」をより確かに、より深くできる機会を最大限に活用することを考え、**自学自習の取組を充実**させていって欲しいと思います。

「後期」の学習で心がけて欲しいこと!! ～基礎学力の確かな定着を～

今年度の全国学力・学習状況調査の報告書が手元に届きました。直接、テストを受けた3年生だけではなく、本校生徒全員にとっても解決すべき「課題」は、『言葉(語彙)』を目的に応じて使いこなす力を身に付けることにあると言えます。「話す」「聞く」「書く」「読む」という力は全ての教科学習だけに限らず、日常生活を送る上でも大事なものです。その力を支えるのは何と言っても『言葉(語彙)』です。目的に応じて使いこなせるようになるためにもTPOに応じた『言葉(語彙)』を選択できることが求められます。

***今日の言葉：仲間がいれば、可能性は無量大。**